

■創立：昭和54年1月23日
■例会：毎週火曜日17:30
■事務所：奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話 0742-33-8583 / FAX 0742-33-8600
■例会場：奈良市高畑町1096番地
奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
■会長：中村信清 ■副会長：多田実 幹事：高野治



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 中澤 忠嗣

「クラブに「個性」と
「憧れ」を！」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長報告

改めまして、こんばんは。最近めっきり寒くなりましたので、皆様方、お風邪を召されないようにじゅうぶん注意して例会に出席して頂きますようにお願いします。最近、本当に朝夕は涼しくなりました。予備を一枚、毛布を一枚、足して頂いて頑張ってくださいませ。よろしくお願いします。

委員会報告

クラブ管理運営常任委員会：多田実委員長

年4回情報集会をやる予定にしております。ところが本来でいうと11月に開催しなければならなかったんですが、公私多忙により失念致しまして、1月末か2月初め頃に第2回の情報集会を開催する予定ですので、皆様是非参加よろしくお願い致します。

ロータリー情報委員会：麴谷委員長

皆さんに、7月の終りか8月頃に配布しました「ロータリーの基礎」について、12月8日を第1回目として輪読会を行います。出来ましたら（入会后）3年未満の方は是非御出席頂きます様に、そしてベテランの方々もどうぞ見直す為に参加を頂きます様にお待ちしております。

ロータリー財団常任委員会：佐川委員長

財団委員会からお願いとお知らせを申し上げます。11月が財団月間ということで、11月は最初に休みが続きましたのですが、皆様はこの前の理事会決定でお知らせしました15,000円を頂くということでお願いしておりますが、現在の所、今日現在で41名の方に頂いております。半分一寸頂いているところで、今日が一応11月の最終例会でございますけれども、まだまだ募集しておりますので、月が替わりましても頂くのは結構でございます。お待ちしております。よろしくお願いします。

例会プログラム

第19回12月1日

通算1764回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「君が代」
「大宮ロータリーソング」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話
漆工芸家 杉村 聡 様
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第18回 11月24日

通算1763回

◎会員総数	72名
◎出席義務者	45名
◎出席規定免除者(a)	0名
◎出席規定免除者(b)	27名
◎本日出席	54名
◎本日欠席	10名
◎本日出席率	84.38%

第16回 11月10日

通算1761回の修正

◎欠席者	7名
◎免除者の欠席者	9名
◎欠席者の補填者	7名
◎免除者の補填者	2名
◎出席率	100%

職業分類委員会：矢追委員長

本日例会終了後、この隣で職業分類委員会を行います。メンバーは、楠木さん、楠原さん、山本さん、松岡さんです。このメンバーで打ち合わせしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

社会奉仕委員会：堀内委員長

年度当初より取り掛かっておりましたグローバル補助金の進行状況についてご報告させていただきます。昨年度より地区の方は申請が通過しておりまして、そのままR Iに作成する書類を作成しておりましたが、なかなか日本語で文章を作ってまた英語に変換して、ということでかなり時間が経っておりまして、やっと11月の頭に申請書類が完成して、地区ガバナー及び財団委員長の承認も頂きまして、R Iに提出させて頂きました。現在申請段階で結果待ちという事になりますが、つい今日発表させて頂く所で一方がありまして、ちょっとまた変更しなければいけない所が出てきたということで、なかなかグローバル（補助金）申請というのは前途多難でございまして、なんとか今年度社会奉仕委員会のメイン事業ですので、提出して最終結果を出せたらと思っております。現在の中間報告は以上です。

幹事報告

次週年次総会ですので、是非ご出席頂きますようお願い致します。

指名委員会の発表

【中村会長】

奈良大宮ロータリークラブ細則第3条第1節（a）に、「年次総会1週間前の例会において、指名委員会は、次々年度会長候補および次年度副会長、幹事、会計および他の5名の理事候補者を指名し、その氏名を発表しなければならない」とありますので、矢追指名委員長、候補者の発表をお願いします。

【矢追指名委員長】

それでは指名委員会から、次々年度会長並びに次年度理事役員の候補者が決定致しましたので、発表させていただきます。

次々年度会長	藤井正勝	さん
次年度副会長	武藤廣茂	さん
幹事	宮西正伸	さん
会計	武中洋勝	さん
理事	富川 悟	さん、高辻良成 さん、谷川千代則さん
	野崎隆男	さん、中奥雅巳 さん

以上でございます。有難うございました。それと、次々年度会長に立候補された方はおられませんでしたので、報告させていただきます。ありがとうございました。

【中村会長】

ありがとうございました。ただいま発表された候補者は次週の年次総会で承認を受けて決定となります。

卓話

学校法人帝塚山学園 学園長 柳澤保徳様

演題 『奈良県教育の歩み～戦前の中等教育から戦後の高等教育へ』

江戸時代の教育は、藩校、寺子屋、そして私塾・家塾が担っていた。当時の日本人の、都市部では70%といわれる識字率の高さが明治期の発展を支えたとされている。

明治期の初等教育は、国民皆学を旨とした明治5年の「学制」頒布（太政官布告）とともに進んだ。各地で小学校の開設が相次ぐが、肝心の先生が足りない。当時の文部省では、アメリカの小学校をモデルとした小学校教員養成のための官立（国立）の師範学校（のちに高等師範学校、現筑波大学）を東京に設立した。その後時代とともに、高等師範学校は師範学校や中学校・高等女学校の教員を養成する学校となる。

一方、各地では、小学校教員の養成を目的とした公立師範学校が設立される。奈良県では明治7年に最初の師範学校である「寧楽書院」が興福寺境内に設立され、県内各地にも師範学校予備校が整備されていく。しかし、奈良県が堺県に併合され（明治9年）、その後大阪府に併合されたため（明治14年）、奈良師範学校は閉鎖となり、明治20年の奈良県再設置の翌年、あらためて奈良県師範学校が開校される。

「学制」によれば、初等・中等・高等教育の順に小学校・中学校（その後、中学校と高等学校）・大学校を置くこととなっていた。大学は、明治30年に京都帝国大学が誕生するまで、官立東京大学のみで、国家必須の人材（官僚）の養成を目的としていた。

中等教育は、各府県の公立中学校（5年制）が担った。明治26年には奈良県尋常中学校が、激しい「誘致合戦」を経て郡山（二ノ丸跡）に開校。その後、畝傍中学校、五條中学校の開校が続く。大正13年には奈良中学校が開校する。これら旧制中学校には男子のみが入学を許可されたが、男女児童の尋常・高等小学校への就学率上昇にともない、女子の中学校進学ニーズが高まり高等女学校が設けられた。奈良県では、明治29年に県立奈良高等女学校が設立される。その後、私立中学校の設立も相次ぎ、十津川中学文武館・天理中学校・南都正強中学校・金鐘中等学校・帝塚山中学校（設立年順）が開校する。

では、奈良県には官立学校はなかったのだろうか。忘れてならないのが、奈良女子大学の前身である官立奈良女子高等師範学校の設立である（明治42年）。この誘致・設立にあたってはエピソードがあった。

このような戦前の奈良県の教育事情について、「奈良県教育百二十年史」（平成7年刊）では、「奈良県に設置されていた高等教育諸学校としては、教員養成のための師範学校が三校（奈良女子高等師範学校、奈良県師範学校・奈良県女子師範学校）、語学および医学専門学校がそれぞれ一校ずつ（私立天理外国語学校、県立医学専門学校）の、あわせて五校があったにすぎなかった。戦前期を通じて奈良県にはついに大学・高等学校が設置されることはなかった」と締めくくり、その理由として「高等教育機関が数多く設置されていた大阪・京都両府に近接するという恵まれた地勢的条件がこの場合むしろマイナスに働き、学制制定以来その整備に力を尽し、常に全国でもトップレベルの水準を維持してきた初等教育の充実ぶりに比して高等教育機関の整備が手薄になったものと考えられる」としている。

戦後の教育は、日本国憲法・教育基本法・学校教育法に則り、アメリカの学校制度をモデルとした単線型の6・3・3・4制の学校制度となった。戦前には、6年制の小学校（昭和18年からは国民学校）のみが義務教育だったが、戦後は、小学校・中学校の9年間が義務教育となった（現在では高等学校に対する就学支援金制度が設けられ、中等教育（中学校・高等学校）の修了が可能）。旧制中学校は、戦後の学制改革により新制中学校・高等学校となった。

では、戦後の奈良県の高等教育の歩みをみてみよう。

戦後、国立大学については、高等教育の地域的な機会均等の観点から「一県一国立大学の原則」（都道府県にあった旧七帝大は例外）が採られ、各県内の官立師範学校・高等学校・専門学校が統合されて新制国立大学が誕生した。

戦前、県内の官立高等教育機関は奈良女子師範学校と奈良師範学校（昭和18年に官立に移行）の2校。セオリー通りであれば、他県と同様に2校を一つの地方（総合）大学として統合し大学に昇格させることになるのだが、旧女高師は「東のお茶の水、西の奈良」という伝統を守り東西2つの国立女子大学が誕生した。そのため、奈良師範学校は、例外的に奈良学芸大学として単独昇格することになった（いずれも開学は昭和24年）。一方、全国では師範学校の師範大学化を目ざす動きもあったが、戦前の国家主義的な師範教育への反省から、大学における教員養成を原則として、教員養成のみに特化した師範大学ではなくアメリカのリベラルアーツカレッジをモデルとした学芸大学が誕生することとなった。結果として、奈良県は国立総合大学がない唯一の県となっている。

公立大学では、県立医学専門学校は旧制県立医科大学を経て、昭和27年に新制県立医科大学が開学し、勤労青年のための夜間制（夜学）の奈良県立短期大学が昭和28年に開学した。昭和30年代になると、高校への進学率が高まり、さらに大学や短大への進学希望者が増加する。特に女子の進学先としての私立短期大学の設立が相次ぎ、佐保女学院・帝塚山・奈良文化女子・橿原学院（共学）の短期大学が次々と開学、最近では白鳳女子短大が開学した。

一方、県内の私立大学では、戦前の天理外国語専門学校が天理大学に昇格した（昭和24年）のを皮切りに、昭和30年代後半からの経済発展と社会の変貌にともなう大学進学ニーズの高まりとともに、帝塚山大学・奈良大学・奈良産業大学（現奈良学園大学）が開学、その後、平成に入り、近畿大学農学部・大阪樟蔭女子大学（関屋キャンパス）・畿央大学・天理医療大学が開学している。

理工系分野では、地元の要望に応じて、国立奈良工業高等専門学校（「高専」、中卒後の5年制）が昭和39年に開校、平成に入ってから奈良先端科学技術大学院大学が開学している（平成3年）。戦後、日本の大学の規模は、特に私立大学を中心に拡大を続けてきたが、平成21年以

降、大学入学定員が大学入学希望者を上回るという「大学全入時代」を迎えている。アメリカの社会学者トロウが提案した高等教育の発展モデルによれば、エリート（進学率15%まで）→マス（進学率50%まで）→ユニバーサル（進学率50%以上）の3段階があり、今日では「ユニバーサル段階」にある。かつては「受験戦争」といわれた厳しい大学入試をくぐった学生のみならず、少子化時代を背景に、文字通り多様な学生が進学する時代となった。一部の大学を除き大学入試の選抜機能が「崩壊」したともいわれる今日、大学教育の質が問われる時代となっている。と同時に、大学の人材養成目的を明確にして、研究重視か教育重視かといった「機能別分化」を図るべきとの社会的要請も強まっている。

最近では、文部科学省では、伝統的なアカデミズム中心の大学とは異なった専門職業人養成のための大学が必要との考えから、「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関」の設立をめぐって検討が進められている。また、入試を間に挟んだ「高大接続」のあり方についても「大学入試改革」をキーワードとした大胆な改革が検討されている。「能動的（主体的）な学び」を意味する「アクティブ・ラーニング」という言葉を最近よく見かけるようになったが、学校教育の中で、「何を教えたか」という教える側の視点から、「何を学んだか」「どんな力が身についたか」という児童・生徒・学生（さらに保護者）の学ぶ側の視点への転換（パラダイム・シフト）が必要となっている。

これまでも「教育立国」「人材立国」を目指した日本。これからもその重要性は変わらずとも、その内容と方法が大きく問われる時代を迎えている。



太宰府ロータリークラブからのご訪問

11月17日の例会に、太宰府ロータリークラブより武宮会長以下7名の方々がお越しくださいました。例会終了後、奈良ホテルで歓迎懇親会を開催し、翌18日に奈良を観光していただきました。

菅原天満宮にて植樹～西大寺で大茶盛式に参加～平城京跡見学～東大寺見学

東大寺では、北河原パーストガバナーの案内のもと、大仏様の大きさに圧倒されておられたようです。来年春には、弊クラブからも太宰府ロータリークラブを訪問予定です。







本日計 35,000円 累計 1,245,000円

高野 治 君 柳澤様、本日の卓話宜しく願いいたします。
弓場裕史 君 柳澤先生本日は卓話よろしく願い致します。
高辻良成 君 柳澤先生、本日の卓話よろしく願いいたします
姉妹・友好担当委員会 先日は太宰府との親睦会に多数出席いただきありがとうございます。
また観光では北河原パストガバナー 大変ありがとうございました。
親睦会の精算をしましたら5,000円残金が出ましたので、ニコニコさせていただきます。(委員長) 谷川
矢追家麻呂君 誕生日のお祝い有難うございます。無事に77才(喜寿)を迎えることが出来ました。
中奥雅巳 君 結婚記念日のお花ありがとうございました。
潮田悦男 君 寒くなってきました。皆様、体調管理に気をつけて下さい。
武中洋勝 君 ニコニコ協力
堀内眞治 君 ニコニコ協力
市田富久夫君 ニコニコ協力
鈴木 譲 君 ニコニコ協力

事務局休局連絡

■あすかロータリークラブ■

・2015年12月26日(土)～2016年1月5日(火)

例会変更のお知らせ

12 月

■やまと西和ロータリークラブ■

・12月15日(火)・・・基隆東南扶輪社歓迎会の為、日時変更。

日時：12月13日(日)

※ビジター受付：12月15日(火) 12:00-12:30迄、まさごビル1Fにて行います。

・12月29日(火)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。

※ビジター受付：行いません。

■奈良東ロータリークラブ■

・12月23日(水)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。

※ビジター受付：行いません。

・12月30日(水)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。

※ビジター受付：行いません。

■五條ロータリークラブ■

・12月23日(水)・・・休会(祝日)

※ビジター受付：行いません。

・12月30日(水)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。

※ビジター受付：行いません。

例会変更のお知らせ

12 月

■奈良ロータリークラブ■

- ・ 12月24日（木）・・・忘年親睦家族会の為、変更。

日時：12月24日 16：00-17：00

場所：奈良ホテル「金剛の間」

※ビジター受付：12月24日（木）12：00-12：30まで
奈良ホテルにて行います。

■奈良西ロータリークラブ■

- ・ 12月10日（木）・・・第2回家族親睦移動例会の為、
例会場変更。

※ビジター受付：12月10日（木）17：30-18：00迄、
奈良ロイヤルホテル1Fフロント横にて行います。

■桜井ロータリークラブ■

- ・ 12月2日（水）・・・家族例会の為、17時～に時間変更。

※ビジター受付：行いません。

1 月

■やまと西和ロータリークラブ■

- ・ 1月5日（火）・・・定款第6条第1節(C)により、休会。

※ビジター受付：行いません。

- ・ 1月12日（火）・・・新年家族例会の為、場所変更。

場所：京都竹茂楼

※ビジター受付：1月12日（火）12：00-12：30迄、まさごビル
1Fにて行います。

■五條ロータリークラブ■

- ・ 1月6日（水）・・・新年家族会の為、場所をリバーサイド
ホテルに変更。

※ビジター受付：行いません。

次回の例会

2015年12月8日(火)

卓話 オルファ株式会社 相談役 岡田 三朗 様

演題 「兄ちゃん、商品にしよう！」オルファカッター誕生物語